

日本史籍講読8－Ⅳ

科目ナンバリング JPH-416
選択必修 2単位

高杉 洋平

1. 授業の概要(ねらい)

歴史を専門的に勉強する上で、史料の読解能力は是非とも身に付ける必要のある技術です。この授業ではその能力を錬成します。不安のある人もいるでしょうが、必ず読めるようになります。

また、この授業では単なる史料読解能力以外にも、人前で発表したり、意見を交換したり(議論というよりはおしゃべり)する能力の錬成も目指したいと思います。

いずれにせよ、皆さんの主体的参加意欲が重要です。張り切って授業に参加してください。

2. 授業の到達目標

- ①日本近現代史の史料を正しく読み、その意味を理解できる。
- ②発表・討議の能力を向上する。

3. 成績評価の方法および基準

平常点100%

4. 教科書・参考文献

5. 準備学修の内容

配布した史料を読み、分からない語句などを調べておく。

6. その他履修上の注意事項

予習復習が大事です。

7. 授業内容

- 【第1回】 ガイダンス
- 【第2回】 日本近現代史の史料を読む(発表・輪読)
- 【第3回】 日本近現代史の史料を読む(発表・輪読)
- 【第4回】 日本近現代史の史料を読む(発表・輪読)
- 【第5回】 日本近現代史の史料を読む(発表・輪読)
- 【第6回】 日本近現代史の史料を読む(発表・輪読)
- 【第7回】 日本近現代史の史料を読む(発表・輪読)
- 【第8回】 日本近現代史の史料を読む(発表・輪読)
- 【第9回】 日本近現代史の史料を読む(発表・輪読)
- 【第10回】 日本近現代史の史料を読む(発表・輪読)
- 【第11回】 日本近現代史の史料を読む(発表・輪読)
- 【第12回】 日本近現代史の史料を読む(発表・輪読)
- 【第13回】 日本近現代史の史料を読む(発表・輪読)
- 【第14回】 日本近現代史の史料を読む(発表・輪読)
- 【第15回】 まとめ・補足(LMS)